



2025 年 5 月 14 日

各 位

会 社 名 SMK株式会社
代表者名 代表取締役社長 池田 靖光
(コード番号 6798 東証プライム)
問合せ先 執行役員 北平 至
(TEL. 03-3785-1111)

「2025 年 3 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正に伴う 2025 年 5 月 8 日
適時開示資料の数値の訂正について

本日公表いたしました「(訂正・数値データ訂正)「2025 年 3 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について」に記載のとおり、2025 年 3 月期決算短信に訂正箇所があったことに伴い、同日適時開示いたしました資料の記載内容につきましても訂正すべき事項がありましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正資料 (2025 年 5 月 8 日付適時開示)

- ・「通期業績予想と実績値との差異、営業外費用 (為替差損)、特別損失 (減損損失、事業構造改革費用) 及び法人税等調整額 (損) の計上に関するお知らせ」
- ・「2025 年 3 月期 通期決算説明資料」

2. 訂正箇所

訂正箇所が複数に及ぶため、訂正後の全文を添付し、訂正箇所には下線を付して表示しております。

以 上

(訂正後)



2025 年 5 月 8 日

各 位

会 社 名 SMK株式会社
代表者名 代表取締役社長 池田 靖光
(コード番号 6798 東証プライム)
問合せ先 執行役員 北平 至
(TEL. 03-3785-1111)

通期業績予想と実績値との差異、営業外費用（為替差損）、
特別損失（減損損失、事業構造改革費用）及び法人税等調整額（損）の計上に関するお知らせ

2024 年 10 月 29 日に公表いたしました 2025 年 3 月期通期（2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日）の業績予想と
本日公表の実績に差異が生じましたのでお知らせいたします。併せて、2025 年 3 月期第 4 四半期連結会計期間
（2025 年 1 月 1 日～2025 年 3 月 31 日）において、営業外費用（為替差損）、特別損失（減損損失、事業構造改革
費用）及び法人税等調整額（損）を計上しましたのでお知らせいたします。

記

1. 2025 年 3 月期通期連結業績予想数値と実績の差異（2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日）

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主 に帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 （ A ）	百万円 48,000	百万円 200	百万円 600	百万円 200	円 銭 31.56
今 回 実 績 （ B ）	48,051	<u>△220</u>	<u>549</u>	<u>△1,884</u>	<u>△297.39</u>
増 減 額 （ B － A ）	51	<u>△420</u>	<u>△50</u>	<u>△2,084</u>	
増 減 率 （ % ）	0.1	—	<u>△8.4</u>	—	
（ ご 参 考 ） 前 期 実 績 （ 2 0 2 4 年 3 月 期 ）	46,522	△1,243	226	△489	△75.00

2. 差異の理由

2025 年 3 月期通期の連結業績につきましては、売上高は、2024 年 10 月 29 日公表の前回予想並みとなりましたが、営業利益は、情報通信市場における主要得意先の需要が想定を下回ったことや、当社メキシコ生産子会社の SMK Electronica S.A. de C.V. で退職給付費用 2 億 6 千 5 百万円を計上したことなどにより、前回予想を下回りました。経常利益は、期末日の為替相場が想定よりも円安に推移し為替差益を計上したことにより、前回予想並みとなりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、第 4 四半期に減損損失 4 億 1 千 7 百万円、事業構造改革費用 8 億 6 千 9 百万円を計上したことにより前回予想を下回りました。

3. 営業外費用（為替差損）の計上

2025年3月期第3四半期連結累計期間（2024年4月1日～2024年12月31日）において為替差益7億3千3百万円を計上しておりましたが、為替相場の円高進行により、2025年3月期第4四半期連結会計期間（2025年1月1日～2025年3月31日）において、6億7千8百万円の為替差損を計上しました。この結果、2025年3月期第4四半期連結累計期間（2024年4月1日～2025年3月31日）において、為替差益5千4百万円を営業外収益に計上しております。これは主として、当社グループが保有する外貨建債権債務の期末為替レートによる評価に伴い発生したものであります。

4. 特別損失（減損損失）の計上

2025年3月期第4四半期連結会計期間（2025年1月1日～2025年3月31日）において、当社及び当社子会社であるSMK Electronics (Phils.) Corporationが保有する固定資産（機械装置、使用権資産等）について、現在の事業環境を踏まえて将来の回収可能性を検討した結果、減損損失4億1千7百万円を特別損失に計上しました。

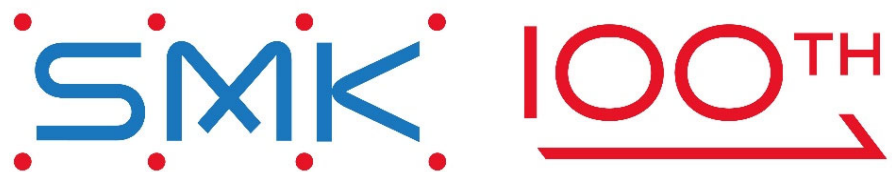
5. 特別損失（事業構造改革費用）の計上

2025年3月25日に公表いたしました構造改革プログラムの施策の一つとして、国内従業員を対象に希望退職を募集しました。当該希望退職者に対する割増退職金または転進支援金等の費用として、2025年3月期第4四半期連結会計期間（2025年1月1日～2025年3月31日）において、事業構造改革費用8億5千3百万円を特別損失に計上しました。詳細につきましては、本日（2025年5月8日）公表の「（開示事項の経過）構造改革プログラムの進捗状況に関するお知らせ」をご参照ください。

6. 法人税等調整額（損）の計上

当社は、今般、グループの資金効率の向上やグループガバナンスの強化を図る観点から、一部の在外子会社からの配当方針の見直しを行い、2025年3月期第4四半期連結会計期間（2025年1月1日～2025年3月31日）において、連結財務諸表における在外子会社の留保利益に係る税効果として法人税等調整額（損）を4億1千4百万円計上しました。

以 上



2025年3月期 通期 決算説明資料

CREATIVE CONNECTIVITY
—Challenge, Creativity, Solutions

SMK株式会社（6798）
2025年5月8日(※2025年5月14日付訂正)

- 売上高は480億円と前期比3.3%の微増、情報通信市場の得意先の需要減やメキシコ生産子会社の退職給付費用の計上から2.2億円の営業損失となるも、不動産収支等から経常利益は5.5億円で着地
- 特別損失として「構造改革プログラム」に伴う事業構造改革費用や子会社留保利益税効果等もあり、18.8億円の当期純損失

(単位：百万円)

	FY2023 実績	FY2024 実績	増減率
売上高	46,522	48,051	+ 3.3%
営業利益 (営業利益率)	△1,243 (△2.7%)	<u>△220</u> (△0.5%)	—
経常利益	226	<u>549</u>	<u>+142.9%</u>
特別損失	739	1,520	+ 105.7%
法人税等	435	<u>921</u>	<u>+111.5%</u>
当期純利益	△489	<u>△1,884</u>	—
1株当たり当期純利益 (円)	△75.00	<u>△297.39</u>	—
為替平均レート (1USD=)	144.56円	152.65円	

- CS：車載、家電、産機市場が好調に推移し、前期比増収増益
- SCI：売上高は前期並みとなるも、在庫販売や開発費用の売上により赤字縮小(前期は棚卸評価損約7億円計上)
- イノベーションセンター：Bluetooth® モジュールの市況悪化により減収減益 (単位：百万円)

		FY2023 実績	FY2024 実績	前期比		コメント
				増減額	増減率	
CS 事業部	売上高	20,586	22,156	+1,569	+7.6	■ カメラ関連、E-Bike関連が好調 ■ アミューズメント、再生エネルギー、タブレット関連が拡大 ■ スマートフォン関連が減少
	営業利益	1,095	<u>1,534</u>	<u>+438</u>	<u>+40.0%</u>	
SCI 事業部	売上高	25,541	25,643	+101	+0.4%	■ サニタリー・エアコン・スマート家電用リモコンが好調 ■ カメラモジュール、E-bike操作ユニットが堅調 ■ 車載向けタッチセンサーが減少
	営業利益	△2,145	<u>△1,308</u>	<u>+837</u>	—	
イノベーション センター 旧 開発センター	売上高	394	251	△142	△36.2%	■ モバイルプリンター用Bluetooth®モジュールが減少 ■ 照明機器用Sub-GHz 通信システムは前期並み
	営業利益	△193	△446	△252	—	
合計	売上高	46,522	48,051	+1,528	+3.3%	
	営業利益	△1,243	<u>△220</u>	<u>+1,023</u>	—	
為替平均レート (1USD=)		144.56	152.65			

セグメント別 | FY2024 四半期実績

- 上期は、CS事業部のタブレット・スマホ関連、再生エネルギー関連が好調で全体を牽引
 - 下期に入り、CS事業部の情報通信市場の減速もあり、売上・営業利益ともに低位推移
- () : 前年同期比
単位：百万円

		FY2024				3Q比 増減額	3Q → 4Qのトレンド
		1Q	2Q	3Q	4Q		
CS 事業部	売上高	(+21.1%) 5,717	(+3.1%) 5,801	(+4.9%) 5,322	(+2.9%) 5,314	△8	タブレット・スマホ関連の 需要減が3Qから継続
	営業利益	(+1,147.8%) 569	(+23.1%) 591	(△32.0%) 157	(△36.1%) 215	+58	
SCI 事業部	売上高	(△4.4%) 5,944	(△4.1%) 6,037	(△6.4%) 5,642	(+14.6%) 8,018	+2,376	4Qは在庫販売、開発費回収 により売上増となるも、メ キシコの退職給付費用計上 により営業利益減
	営業利益	(-) △528	(-) △322	(-) △185	(-) △271	△85	
イノベーション センター 旧 開発センター	売上高	(△36.0%) 64	(△55.3%) 49	(△26.2%) 50	(△24.0%) 87	+37	4Qは売上増により営業赤字 は縮小
	営業利益	(-) △104	(-) △95	(-) △155	(-) △89	+66	
合計	売上高	(+6.2%) 11,726	(△1.2%) 11,888	(△1.4%) 11,015	(+9.3%) 13,420	+2,405	
	営業利益	(-) △64	(△16.0%) 172	(-) △183	(-) △145	+38	

- 家電市場はリモコンやアミューズメント関連コネクタの好調により拡大、産機市場は再生可能エネルギー関連コネクタ好調により拡大
- 情報通信市場はスマートフォン関連コネクタの減速により減少、車載市場はコネクタが好調、カメラモジュール、ユニットが堅調なるも、タッチセンサー減少により前期並み

(単位：百万円)

	FY2023 実績	FY2024 実績	前期比		コメント
			増減額	増減率	
情報通信	7,908	6,949	△958	△12.1%	■ スマートフォン関連コネクタが減少
家電	17,500	19,820	+2,320	+13.3%	■ サニタリー用・エアコン・スマート家電用リモコンが拡大 ■ アミューズメント関連コネクタが拡大
車載	16,599	16,100	△499	△3.0%	■ カメラ関連、E-Bike関連コネクタが拡大 ■ カメラモジュール、E-Bike用操作ユニットが堅調 ■ タッチセンサーが減少
産機・その他	4,513	5,180	+666	+14.8%	■ 再生可能エネルギー関連コネクタが拡大
合計	46,522	48,051	+1,528	+3.3%	

(単位：百万円)

特別損失	内容	金額
事業構造改革費用	「構造改革プログラム ※」における国内人員数の最適化に伴う費用等 (割増退職金・転進支援金等)	869
減損損失	当社及びフィリピン生産子会社保有の固定資産を減損	497

※2025年3月25日「構造改革プログラムに関するお知らせ」参照

法人税等	内容	金額
法人税等調整額	在外子会社の配当方針見直しによる留保利益に係る税効果を計上	414

- 売上高は減収なるも、構造改革プログラムの加速により、営業利益は改善

（単位：百万円）

	FY2024実績	FY2025予想	増減率
売上高	48,051	46,000	△4.3%
営業利益 (営業利益率)	<u>△220</u> (△0.5%)	500 (1.1%)	—
経常利益	<u>549</u>	1,000	<u>+82.0%</u>
当期純利益	<u>△1,884</u>	600	—
1株当たり当期純利益（円）	<u>△297.39</u>	94.70	—
配当金（円）	140.00 (中間 50/期末 90) 期末に記念配当40含む	100.00 (中間 50/期末 50)	
為替平均レート (1USD=)	152.65円	145.00円	

(単位 : 百万円)

	2024/3 (A)	2025/3 (B)	増減 (B) - (A)
資産	58,444	<u>57,684</u>	<u>△759</u>
現預金	10,258	10,475	+216
受取手形及び売掛金	13,222	13,935	+713
棚卸資産	9,257	7,673	△1,584
固定資産	24,619	24,535	△84
負債	26,300	<u>28,462</u>	<u>+2,162</u>
買掛金及び未払金	6,503	6,901	+397
有利子負債	14,365	15,616	+1,250
純資産	32,143	<u>29,221</u>	<u>△2,921</u>
資本金	7,996	7,996	—
自己資本比率	55.0%	50.7%	△4.3%

(単位：百万円)

	FY2023	FY2024
営業キャッシュフロー	3,719	2,439
運転資金	1,610	245
税引前利益	△53	△963
減価償却費	2,451	2,347
その他	△289	809
投資キャッシュフロー	△1,617	△2,216
フリーキャッシュフロー	2,102	222
財務キャッシュフロー	△478	286
有利子負債の増減額	1,005	924
自己株式の増減額	△498	△1
配当金の支払金額	△984	△636
現金等期首残高	8,915	10,197
現金等期末残高	10,197	10,415

注意事項

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点において当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別の事情の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じる可能性があります。当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の業績見通しのみに全面的に依拠してご判断されることは、くれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

商標について

- Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。SMK株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。
- その他記載されている社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。